

ハワイ島における健康保養と ヒーリングアイランド構想の現状

野 崎 康 明

はじめに

筆者はこれまでにアメリカにおけるスパ（SPA）と呼ばれている健康保養地を調査してきたが、それらのほとんどは、各施設が独立でそれぞれのプログラムや施設を提供しているというものであった。近年ハワイ島ではいくつものスパや病院、ウエルネス施設等が協力し、島全体を健康保養地として考え、総合的な健康保養地としてのヒーリングアイランド構想が計画され、進められているとのことを知り調査研究をしようと考えた。

アメリカのハワイ州はカウアイ島、オアフ島、マウイ島、ハワイ島の四つの大きな島と周囲の12の島から成っている。ハワイは年間を通じて温暖な気候に恵まれているため、アメリカ本土はもとより多くの国の人々が休暇を過ごしに来ている。

近年このハワイにおけるリゾート地が、これまでのスポーツや観光中心から健康の維持増進を目的とした健康保養地に生まれ変わろうとしている。各ホテルはアメリカ本土で人気が出ている、スパといわれる温浴施設を中心とした、身体や心のケアやマッサージ等のできる施設を作り、単なるレジャーランドではなく、現代のストレス社会で疲れた人々がゆっくりと休み、これらの施設で癒されるためのプログラムを提供しようという健康保養地として位置づけようと考えようになってきた。

その中でハワイ島では、この健康保養地の考えをさらに進め、地域の病院、

ホテル、フィットネスセンター、ウエルネスセンター、公園が協力し、ハワイの伝統医療、補完・代替医療、統合医療等も含めた総合的な癒しを、来島する人々に提供する、ヒーリングアイランド構想という計画が進行している。もともとハワイ (Hawaii) とは Breath of life, Water of life of the gods という意味であり、Ha は生命の息、wai が命の水、i が神々のという意味で、神々の生命の息と生命の水を意味しているとのことであるので、ヒーリングアイランドという計画は、その名称からも気候的な面からも適した計画といえる。

そこで本研究では、このヒーリングアイランドの構想とハワイ島における保養地の現状を明らかにしたいと考え、この構想の中心となっている人々や施設を訪れ、その構想の内容について調査するとともに、保養地の現状とくに近年ホテル等に設置されてきたスパの現状について調査をし、現状を明らかにしようとした。

方 法

2002年7月10日～13日に実地調査を行った。調査内容は、次の通りである。

1. このヒーリングアイランド構想をはじめに考え、構想全体の中心的役割をしている、世界最大の心臓のペースメーカーの製作会社であるメドトロニック社の創業者であり現名誉会長でもありノースハワイ・コミュニティーホスピタルの創立者であるアール・E・バッケン氏を訪ねた。
2. ヒーリングアイランド構想の中心的役割をしているノースハワイ・コミュニティーホスピタルを訪問し、この病院の施設や建てられた経緯と現在の活動状況についての調査を行った。
3. ヒーリングアイランド構想を中心になって進めている NPO 法人ファイブマウンテンメディカルコミュニティーの事務所を訪ねエグゼクティブディレクターのパット・リントン氏を訪ね、この構想の内容と現在の進み具合について調査を行った。
4. ヒーリングアイランド構想に賛成し、積極的にこれを進めているフォーシ

ーズンリゾートホテルフアラライ，マウナラニリゾート，ホテルオーキッドのスパの施設と内容について調査を実施した。

結果と考察

I ノースハワイ・コミュニティホスピタル

1. ノースハワイ・コミュニティホスピタル設立の起源

心臓のペースメーカーの生みの親であるバッケン氏は、ミネソタ州で長らく心臓のペースメーカーを中心にした医療機器を扱うメドトロニック社を経営していた。リタイヤ後、それまで住んでいたミネソタから温暖な気候のハワイ島の北西部に移り住むことになり、この地の自然環境のすばらしさと同時に、人々のすばらしさを知り、この島の人々のための健康とウエルネスな生活のために何かしたいと考えるようになった。

この地域に住むようになって彼が知ったことは、ハワイ島の北西地域には重症患者の処置や複雑な手術をする近代的な設備とスタッフを持った総合病院がなく、重症患者は車で2時間もかかるヒロの病院まで搬送しなければならないということであった。地域の人々やこの地に訪れる観光客、滞在先のホテル等の多くの人々が、この地に近代的設備とスタッフを備えた総合病院のできることを願っていることがわかった。

バッケン氏は彼のこれまで関係していた病院や大学、友人達、島の人々の助けを得て、ここに近代的な設備とスタッフを整えた総合病院を設立することを計画した。

この病院は地域住民だけでなく、この島を訪れる全ての人の為に存在するということとした。そこで実施される医療も現代医療だけでなく、伝統的な各種の医療を取り入れ、特にハワイに伝わる伝統的な医療も取り入れ、医療を癒しという観点からとらえていこうと計画した。

この病院では、単にある病気の治療を受けるだけでなく、全人的にホリスティックな観点から癒されていくということを目指とした。

ノースハワイ・コミュニティーホスピタルはこの病院のミッション、ビジョン、バリュー（価値）を次のように紹介している。

- 1) 我々のミッションは、ハワイ北部の人々の健康の増進のために高い質のサービスを高くない費用で供給することである
- 2) 我々のビジョンはチームで患者中心のケアを通して、全ての人のボディ、マインド、スピリットを扱い、最終的には世界でもっとも癒される病院となることである
- 3) 我々は信頼と尊敬、不安なく自己表現できること、心と精神を開いて向上し続けるというアロハの精神に価値をおく

このような主旨のもとに、1996年にハワイ島北西部のワイメアに、ノースハワイ・コミュニティーホスピタルが建設された。

2. ノースハワイ・コミュニティーホスピタルの活動内容

この病院の創始者であるバッケン氏はこの病院について、現代医療と統合医療の調和、ボディ・マインド・スピリットの調和が大切であると言っている。

ノースハワイ・コミュニティーホスピタルでは、そのパンフレットに「この病院では、あなたの癒しを援助したい。癒しはあなたの物理的な身体、情緒、思い、マインドとスピリット、情熱の復興をもたらす」と述べている。そして、各個人のボディ・マインド・スピリットのトータルな治療が重要と考えている。

現在アメリカの病院では、ヘルスケアに対し、全人的・ホリスティックな取り組みがなされるようになってきたが、この病院では特にこの点を重視しており、この方面の指導的な立場にある。全人的な癒しを与えるために、患者の家族や地域環境、文化環境についても配慮している。

この病院では、最先端の医療技術とともに補完・代替医療も提供している。それらはナチュロパシー（自然療法）、カイロプラクティック、鍼治療、マッサージセラピー、精神療法、ヒーリングタッチ、ラウラパアウ（ハワイの伝統的な薬草を使った治療）等である。これらの補完・代替医療は、患者の求めに応じて補完・代替医療担当者、担当医と看護師の三者で話し合いながら実施されている。

病院にはヒーリングサービス専門の部屋があり，ヒーリングサービス専門の担当者が常時いて，ヒーリングタッチ，セラピュティックタッチや日本で開発されたヒーリングバイブレーション等のサービスが自由に受けられるようになっている。この病院では特に患者のスピリチャリティを重んじており，「あなたのスピリチャル（霊的）な指導者とコンタクトをとる手伝いをします」と患者には知らされている。

米国に帰属した後に地下にもぐってしまい衰退していった伝統的なハワイアンヒーリングを表に出し，後世に残すことも病院の重要な活動の一つとして位置付けられている。

ボランティアの活動が盛んで，病院のヒーリングガーデンと呼ばれている庭は全て，ボランティアの寄附と奉仕によって作られ，現在もボランティアによって維持管理されている。入院患者は，本やビデオテープも自由に見ることができ，自分の好みのものが病院に無いときは，ボランティアが見つけて持ってきてくれるシステムになっている。

3. ノースハワイ・コミュニティーホスピタルの施設の概要

病院の平面図は図1に示す通りである。この病院は平屋建てで2階がなく，全てバリアフリーになっている。フロントから入る廊下部分は幅が4 m余りあり，ゆったりとした空間となっている。下は全て厚めのカーペットが敷かれていて，物音が静かになっている。

病院関係者が空調には特に気を使ったと言っているように，病院特有の消毒液や他の臭いはまったくしない。まるでオフィスビルの廊下を歩いているようである。廊下にはヒーリングミュージックが流れており，3日間サイクルで変わるようになっているとのことである。事務所，手術室，分娩室，廊下など，あちらこちらの天井から自然光を取り入れるように屋根部分にガラスが入れられてあり，自然光中心の採光になっている。病室の部屋のガラス窓は患者の意思でいつでも開けて自然光と新鮮な空気を入れられる。

各病室にはテレビ，ビデオ，バス，トイレがあり，壁部分に縦2 m，横1.5 m程の写真や絵を架けられる場所があり，そこには地域の画家たちから病院が寄

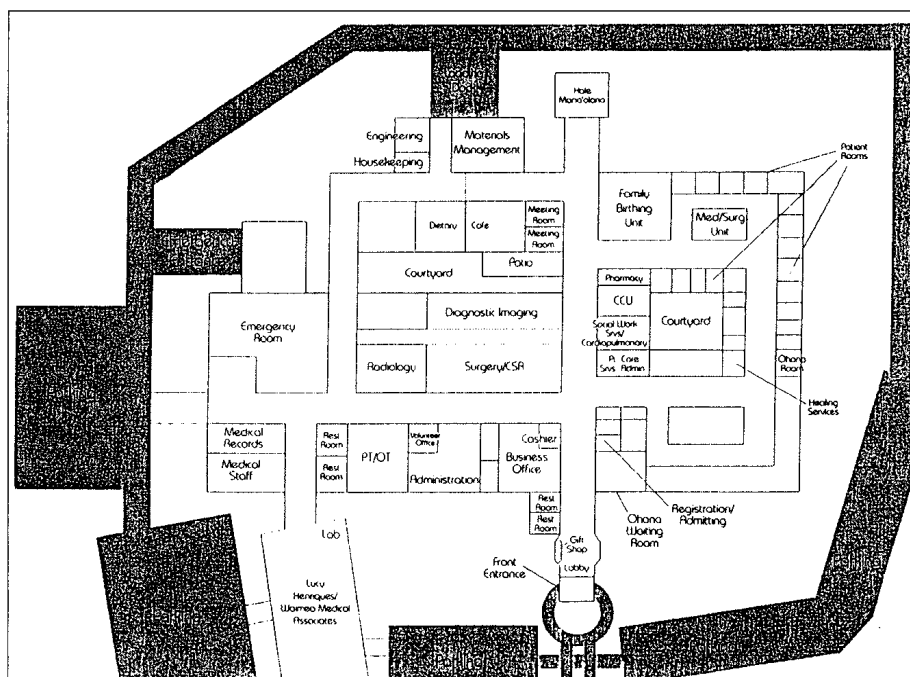


図1 ノースハイ・コミュニティーホスピタルの平面図

贈してもらった絵の中から、患者が好みに応じて選んだものを架けることができる。自分の家から写真や絵を持ってきて架けることも可能である。この下の部分には奥行20cm、横1.5m程の棚があり、この部分に花瓶や植木鉢を置けるようになっている。

新生児室は、クローゼット、洗面所、新生児用ベッド、その他の家具が全て木製になっており、新生児とその母に自宅に近い環境を提供している。各病室も、木製家具で統一されており、暖かな感じがする。

患者には入院時に病院のインフォメーションブックがわたされ、ホテルに泊まった時のように全てのことが知れるようになっている。

病室や診察室、レントゲン室、手術室、事務室は全て木製の床になっており、しかもいくつかの診察室ではその床がモザイク模様の寄木でできているなど、さらに暖かい感じを出している。壁の部分もカラーになっていて各部屋ごとに異なった色を使ってある。MRI室や手術室の壁には、自然を題材にした絵が描いてある。

入院患者をお見舞いに来た家族と一緒に過ごせるようにと、病室以外のところに部屋があり、ここにはソファセット、テレビ、食事用テーブル、電子レン

ジ、台所も完備しており、食事をしながら患者と家族が1日ゆっくり過ごせるようになっている。

リハビリテーションや、元気になりつつある患者のトレーニングのためのトレーニングルームもあり、常に利用できるようになっている。

静まりたい人、瞑想したい人、祈りたい人のための瞑想室も設けられている。

食堂は、有機栽培している農園から特別に仕入れた材料を使用している。肉も特別なものを使っているとのことであった。食堂はカフェテリア形式で、入院患者や病院関係者以外の地域の人々にも解放されていて、自由に利用できる。食堂の前にはよく手入れされた庭があり、この部分にもテーブルがあって利用できるようになっている。

病院の周囲は緑で囲まれており、芝生だけでなくいろいろな木々や花が植えられている。病院の中庭は病室のどの部屋からも見えるように設計されていて、ヒーリングガーデンと呼ばれている。ヒーリングガーデンは病院の建築後に、多くの団体や個人の寄附と奉仕によって造られたとのことである。地域のライオンズクラブ、ガールスカウト、いくつかの学校の生徒達は、病院に多くの木々や花を植えに来てくれたとのことである。

ヒーリングガーデンは、アメリカの多くの病院に見られるような芝生中心の庭でなく、多くの木々や花々が植えられており、石や岩も多く使われている。池もいくつかある。ヒーリングガーデンはいくつかの部分からなっており、それぞれの庭は個性的に作られていて、入院患者やスタッフの目を楽しませ、まさにヒーリングガーデンとしての働きをなしている。現在もこの庭の維持管理は、ボランティアの人が中心になって働いていてくれるとのことであった。

こうした働きをするボランティアは、全部で100名を越えており、これらのボランティアが常に病院のどこかで働いているそうである。病院側にはこれらのボランティアとの窓口係となる専属スタッフがいる。

現在この病院は、島の人々だけでなく観光等で島を訪れる人々を受け入れる以外にも、現代医療と伝統的な医療をホリスティックな観点から用いている治療法を願うアメリカ本土や他の国の人々にも注目を集めており、島外から入院

を希望する人も増えているとのことである。

病院はこれらの医療行為だけではなく、世界的な医学関係の学会や、特に統合医療に関する学会等も積極的に開催を引き受けており、世界にこの病院の存在と情報を発信している。

以上のことからノースハワイ・コミュニティーホスピタルは、医療施設の無かった地域に新しく医療施設が出来たということだけでなく、最先端の医療技術を提供するとともに、補完・代替医療も積極的に取り入れた統合医療、全人医療といわれる医療を目ざし、医療を癒しという観点からとらえていこうとしている病院として開設されていることが判明した。

特にハワイ地域で昔から行われていた伝統的なハワイアンヒーリングを採用するとともに、これまで地下に潜行してしまったハワイアンヒーリングを積極的に表に出し、後世に残そうとしている点が特徴的であると考えられる。施設内容も、これまでの病院にありがちな非人間的な病棟や消毒液のにおいがたちこめた病棟でなく、患者一人一人の個性を尊重した、暖かみのある、より家庭に近い病室を作り、どの病室からも庭が見られるように設計されている点は、新しい病室の設計方法と言える。消毒液等の臭いは、徹底的な換気作用によって消されており、カーペットをしくことによって病院的な騒音はなく、より家庭に近い病棟になっている点が特徴的である。

入院患者が窓から見られるようになっているヒーリングガーデンも、ボランティアの働きによって常に手入れがされ、楽しめるようになっているのも患者にとって素晴らしいことと言える。入院患者がその家族とゆっくり会えるスペースのあることも患者の人格を配慮した点である。

積極的にボランティアの参加を求め、病院のいたる所でボランティアが活躍、入院患者ともふれあえることで、患者の入院生活に活気を与えるように配慮されている点もこの病院の特徴と考えられる。

このようにノースハワイ・コミュニティーホスピタルは多くの点で患者の人格を大切に、医療を癒しという観点からとらえて、統合医療、全人医療を目ざす新しいタイプの病院ということが言える。

これらのことからノースハワイ・コミュニティーホスピタルはヒーリングアイランド構想の核としてふさわしい施設と内容をそなえていることが判明した。

Ⅱ ファイブマウンテンメディカルコミュニティー

バッケン氏はノースハワイ・コミュニティーホスピタルを創設すると同時に、一方でこの病院を中心にしてハワイ島のホテルや健康に関連のある企業、観光関係者、各企業、文化施設関係者、教育関係者等、ハワイ島に住むあらゆる人々に呼びかけて、これらの全ての協力のもとに、ハワイ島を地域の人々及びこの島を訪問する人々のヒーリングアイランド（癒しの島）とすることを提案した。これらに関する総合的なプログラムを計画し実行していく機関としてNPO法人・ファイブマウンテンメディカルコミュニティーを設立し、自らその理事長となった。

古来ハワイ島は、伝統的にヒーリングの場所であった。古代のハワイ地域のヒーラーは、ハワイ島のコハラの海岸線に沿ったラパカヒ（現在ラパカヒ州立歴史公園になっている）に毎年集まっていたということである。

このラパカヒを含むハワイ島の北西部の5つの山に囲まれた地域は、昔から癒しの力が特にある土地と伝えられてきている。このハワイ島北西部からは晴れた日に5つの山が同時に見える。そこで、このNPOをファイブマウンテンメディカルコミュニティーとしたとのことである。5つの山とは、マウナケア (Maunakea)、フアラライ (Hualalai)、ハレアカラ (Haleakala)、マウナロア (Maunaloa)、コハラ (Kohala) の5つを指す。このうちハレアカラは北隣のマウイ島の南端にある山であるが、ハワイ島からは良く見える場所に位置しており、ハワイ島のコハラ山と海底の溶岩で繋がっているためハワイ島の山の一部として数えられているとのことである。

5つの山はそれぞれがネイティブハワイアンの宇宙へつながる神話の具現化した場所であるとされており、一つ一つの山には次のような意味がこめられている。

1. マウナケア (4,205m) は白い山で心 (マインド) と明快な思考と関連する

とされている。

2. マウナロア (4,170m) は長い山, 自然の女性的な面を代表する。創造された世界の完璧な均整であるとされている。
3. ファアラライ (2,521m) は美しく高い支配者, 若さと肉体的な力の身体を連想させるものであり, コナ (ふもとの海岸地域) の養育母として知られている。
4. コハラ (1,604m) は運命の場所, カメハメハ大王の生まれた地, ヒーリングを代表する地とされている。
5. ハレアカラ (2,969m) は太陽の家, 調和や霊性の順序を代表しているとされている。

ファイブマウンテンメディカルコミュニティーは, ミッションとして, ハワイ島の自然, 社会, 経済的資産を持続的に促進することであるとしている。そして, この計画のゴールとして以下の3点を挙げている。

1. 自然と地域の総合的健康, マインド, ボディ, スピリットのモデルを形づくること
2. ハワイ島の経済的活性を持続的に刺激するものであること
3. グローバルな健康とウェルネスとしてのヒーリングアイランドを創立することである

これらの具体的な働きとして, ウェブサイトを通じてヒーリングアイランドの情報, 特にヒーリング, ヘルスケア, ウェルネスやフィットネスに関する情報を発信していく。ヒーリングアイランドとしてハワイ島を国際的な健康の島として知ってもらい, 健康に関するさまざまな商業展示や専門家の会議等の場所として利用してもらうように活動している。

以上がファイブマウンテンメディカルコミュニティーがなそうとしている事業であるが, この働きは実際に進んでおり, 現にいくつかの健康や医療に関する国際会議がノースハワイ・コミュニティーホスピタルを中心にもたれている。ハワイ島全島における健康・ウェルネスに関する施設や自然とのコミュニケーションのできる図2のような情報マップの作成などもすすめられている。

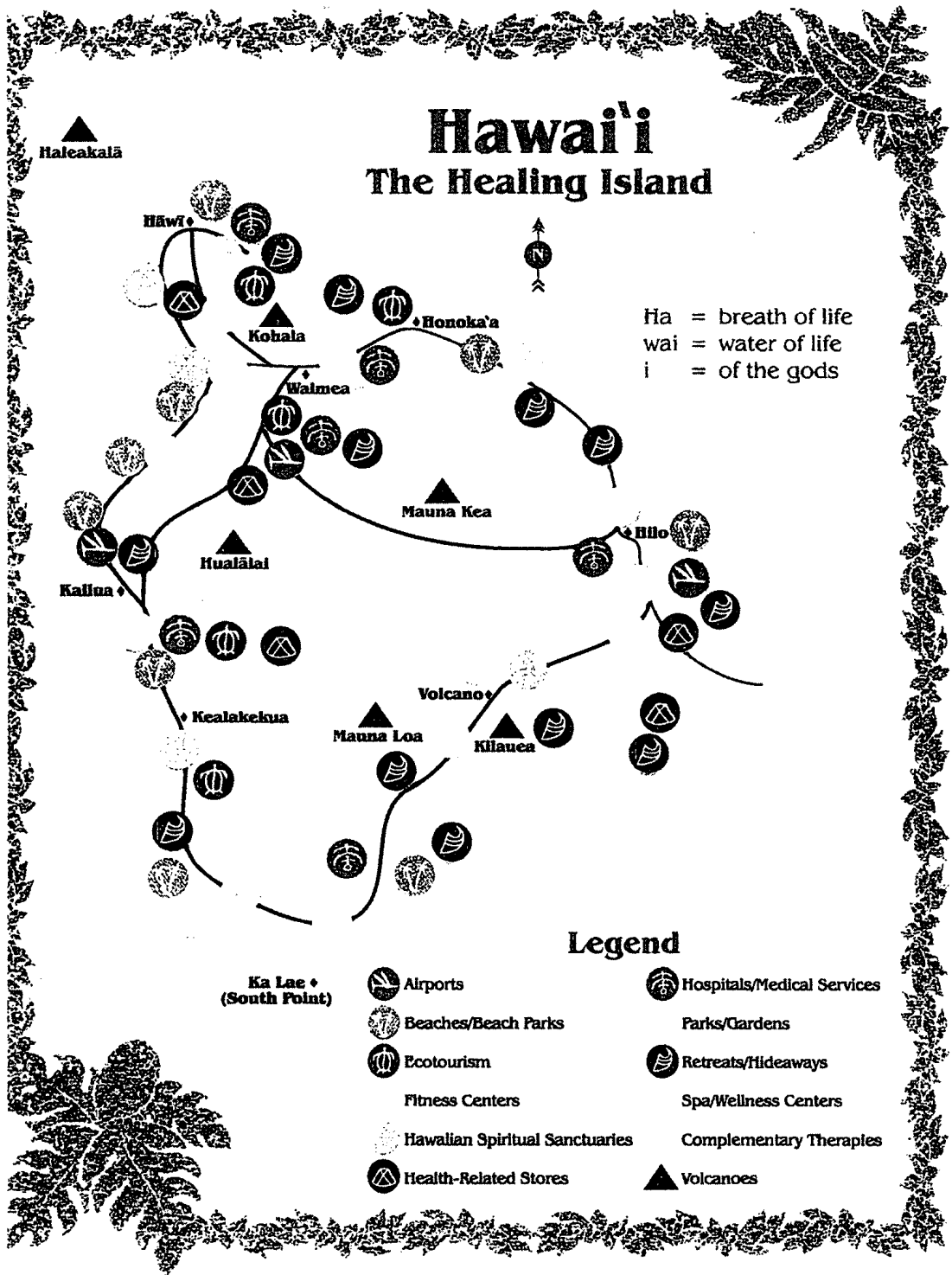


図2 ヒーリングアイランドハワイの案内図

この構想のもとにハワイ島にあるホテルは、近年それぞれ癒しを旨としたスパ施設をオープンしてきており、現在計画中的のホテルもいくつかある。このようにファイブマウンテンメディカルコミュニティーを中心とするヒーリングア

イランド構想は確実に動き始めていることが見られた。

以上のことから、ファイブマウンテンメディカルコミュニティーは、ノースハワイ・コミュニティーホスピタルを中心にしたハワイ島のヒーリングアイランド構想を推進していくのにふさわしいハワイ島の各階層の協力のもとに進められる総合プロジェクトのNPO法人であると言える。この計画の中には、単なる人々の経済的な計画や知識だけでなく、ハワイアンスピリットを大切にしたいヒーリングアイランド構想であることが、そのミッションからも読みとれるところが、これまでの単なる地域開発とは異なると言える。

Ⅲ スパの調査結果

1. スパ・ウィズアウト・ウォールズ

スパ・ウィズアウト・ウォールズは、ホテル・オーキッド・アット・マウナラニの中にあり、この地域で最も古いスパである。ほとんどの施設は、屋外のマッサージルーム以外は、ホテル本館の地下部分にある。

スパ施設としては、フィットネスセンター、スチームサウナルーム・ドライサウナルーム、屋内と屋外のマッサージルーム、シャワールーム、マッサージのウェイトングルーム兼リラクゼーションルームがある。屋外のマッサージルームはホテルをとりまく木立の中に点在していて、よしず張りのような小屋になっており、ハワイの風に吹かれながらマッサージを受けられるようになっている。

スパのサービス内容は次のとおりである。

1) マッサージセラピー

スウェーデン式マッサージ、スポーツマッサージ、ロミロミマッサージ（ハワイの伝統的マッサージ）、オリエンタルマッサージ、フットマッサージ

2) エピキュア・マッサージ

ラ・ストーン・セラピー（温めた石を使ったマッサージ）、タイ式マッサージ、リフレクソロジー、ザ・ボディトーク・システム（やさしいタッチで

からだと心のコミュニケーションを行う), リンパ・ドレナージュ (リンパ腺を刺激し, リンパ液の流れを促進させる)

3) ボディ・トリートメント

バニラ・コーヒー・エクスフォリエイション・トリートメント (バニラ・コーヒーとオレンジ・クリーム・ローションを使用), ハワイアン・ボディ・グロー (ハワイ産のハチミツとハーブを使用), エクスフォリエイティング・ボディ・ポリッシュ (肌の老廃物を除去し血行を促進させる), ファンゴ・ラップ (温泉泥で身体を包む), アロエ・ボディ・ラップ (アロエ液で身体を包む), カリソフトネス・トリートメント (肌に栄養を与える), ハワイアン・リバイタライザーラップ・ボディポリッシュ (ハワイの薬草で身体を包む), フルボディ・トリートメント (温泉泥で身体を包む, 顔から足までの全身マッサージ), セルライト・トリートメント (海草ラップ), スリミング・トリートメント (脂肪細胞に働きかけ身体をひきしめ, ミネラルを補強するラップ)

4) フェイス・トリートメント

フェイス・トリートメント, フラッシュ・ビューティ (ビタミンCセラピー), ミニ・アイ・コンチュール・トリートメント (目の周りの肌を引き締める)

5) アーユルヴェーダ・トリートメント

シロダーラ (温めた薬草入りオイルを多量に使ったマッサージ), ビンディ・ハーバル・ボディ・トリートメント (アーユルヴェーダの薬草入りオイルを使って顔から脚の先までマッサージを行う), アーユルヴェーダ・マッサージ (ドーシャ・タイプに従ったオイルを用いたマッサージ)

6) ヘルス・スルー・アウエアネス

ロザリーによる心霊術セラピー, プライベート・セッション (ヨガ, メディテーション, フィットネス, アクアエアロビクス等のプライベートセッション), パーソナル・トレーニング (パーソナル・トレーナーによる各種トレーニングのレッスン), ファイブ・チベットン (チベット式ヨガ), ト

ランスダンス（ヨガ，気功，ダンス，音楽，アロエを取り入れたセラピー），ハートマス・パーソナル・コーチング（ストレス・ホルモン低下や安定した精神状態維持に効果がある），チ・クン・ヒーリング（気功術），太極拳

このように多くのマッサージやトリートメントがメニューにあるが，予約制なので，全てのことを出来る担当者がいるわけではないようである。お客の予約に応じて，スパと契約している人が来ているようであった。

屋内のマッサージルームは，かなり照明を落としてあり，ヒーリングミュージックを聞きながら受ける。屋外は明るい中で風に吹かれながら受けるようになっている。施設全体は少し古くなってきており，待合室や休憩室は他のスパのものに比べて狭かった。

2. ファラライ・スポーツクラブアンドスパ

ファラライ・スポーツクラブアンドスパは，フォーシーズン・リゾート・ファラライホテルの敷地内にあり，周囲にはテニスコートやゴルフ場がある。

施設としては，16のインドアとアウトドアのトリートメントルーム，屋外ドライサウナルーム，屋外スチームサウナルーム，ロッカールーム，インドアとアウトドアのシャワールーム，屋根のみのオープンエアトレーニングジム，エアロビクススタジオ，ヨガや瞑想用の芝生，25mアウトドアプール，バスケットボールコート，ウェイトトレーニング場，エアロバイク等の各種マシントレーニングルーム，テニスコート8面，ビーチバレーコートがある。

屋外のトリートメントをするマッサージルームは，木立の中に小屋のように点在していて，ハワイの風に吹かれながらマッサージ等を受けられるようになっている。

スパのサービス内容は，スペシャリティヘルス&ウエルネスサービスと呼ばれていて次のような内容のものがある。

1) トランスフォーメーション・ブレスセラピー

呼吸法を中心にしたセラピーでボディ・マインド・スピリットの若返りと癒しを目的にしている。

2) 鍼療法サービス

鍼治療, フェイシャル若返り鍼療法

3) マッサージセラピー

ロミロミマッサージ, スウェーデン式マッサージ, アロマセラピーマッサージ, スポーツ&フィットネスマッサージ, カップルマッサージ (カップルで一緒にする), 首と肩の緊張をやわらげるマッサージ

4) プリマイアーセラピー

クラニオサクラルセラピー (頭蓋と仙骨のマッサージ), 指圧 (日本の指圧), タイ式マッサージ, レイキ (日本の霊気法), アキユプレス (指圧法), マイヨファーシャルリリース (筋膜マッサージの一種), シダー・アブハイアンガー (アーユルヴェーダ式マッサージで温かいオイルをたっぷり使用する)

5) ストーンセラピー

フアラライ・ホットロックマッサージ (熱い石と冷たい石を使ったマッサージ), ホットロック・エネルギートリートメント (熱い石と冷たい石を使いエネルギーバランスをとるトリートメント)

6) セラピュティック・ボディートリートメント

フアラライ・ハーベルラップ (特別なハーブとハイビスカスを使って身体全体をラップする), フアラライ・サルトグロ (ミネラル分の豊富な塩とハワイの癒しの赤土とエッセンシャルオイルを使ってのマッサージ), スピリチャル・ボディーマスク (アロマセラピーのマッサージオイルを身体中にぬり暖かな毛布で身体を包む), デッドシー・マッドマスク (死海の泥を使った全身パック), リハイドレーティング・アロエラップ (アロエのエキスを身体中にぬる), アーユルヴェーディク・フィートトリートメント (アーユルヴェーダ式の薬草を使ったフットバスに足を入れたあと, 顔, 頭部, 首のマッサージを行う)

7) シグネチャー・ボディートリートメント

フアラライスパ・ピュアサウナ (ぜいたくなラップとマッサージで, サウ

ナと同様の効果を得る), ファアラライ・エッセンシャルハーモニー (高級なアロマエッセンスを使ったマッサージ)

その他にもこれらのいくつかを一緒にしたコンビネーションセラピーがある。

施設の広さはオーキッドホテルのスパ・ウィズアウト・ウォールズよりも広くなっている。スパ施設がホテル部分と少し離れていてすべて平屋になっているので、光がよく入り風もよく通るのでハワイの雰囲気を楽しむには適した施設といえる。特にアウトドアになっている石畳の庭の周囲にシャワールーム、スチームサウナ、ドライサウナがあり、石畳の庭の中央には水風呂があり、その周囲にデッキチェアがあってゆっくり休めるようになっているところは、とてもよくできている。

全ての施設の横に新しいタオルが用意されていて、自由に使えるのも便利である。

スパ施設のフロント部分には受付と事務所とスポーツショップがあり、スポーツ用品やスパ用品を販売している。

この施設はスパ・ウィズアウト・ウォールズより新しいためか、シャワールーム、サウナ、更衣室、待合室、休憩室のスペース等いろいろな点で改善されたと思える部分が見受けられた。

3. マウナラニスバ

マウナラニスバは、ゴルフ場、ビーチ、プール、マウナラニベイホテル&バンガローからなるマウナラニリゾートの中にあり、マウナラニベイホテル&バンガローの宿泊者を対象にしたスパである。以前はホテルの中にマッサージルームを中心とした小規模のスパがあったが、2001年にホテルから歩いて5分程離れたところに総合的なスパ施設が建設された。この地域では最も新しい施設である。

スパの施設としては、受付カウンターの奥にスポーツ用品、ヒーリングCD、アロマキャンドル、健康やヒーリング関係の本、その他のアロマ用品ヒーリンググッズの売っているゆったりしたショッピングゾーンがあり、その奥に男女に分かれたマッサージのウェイトングルームがある。その横にはロッカールームがある。

ームがある。ロッカールームを出たところに、溶岩の塀で囲まれたシャワーと、ミストサウナルーム、ドライサウナルームがある。ここでもいたる所にバスタオルが置いてあり、自由に使用できるようになっている。

マッサージルームは屋内と屋外にあり、屋外のマッサージルームは、ヤシの葉の屋根のみある小屋になっており、周囲は溶岩で囲まれた道がつけてあり、その中に8つほどの小屋が点在している。風がよく通り抜けるように工夫されていて、涼しいそよ風の中でマッサージが受けられるようになっている。

中央にある大きな小屋は、マッサージを受けた人がくつろげるようになっていて、ベンチブランコやソファーが置いてある。このゾーンの中には溶岩で囲まれた太陽熱のみを利用したラバサウナや、花を使ったセラピー（フラワーチャクラバス）に使う浴槽もある。

スパ施設に附属して、ウェイトトレーニングルーム、エアロビクススタジオ、25mプール（リゾートのプールとは別）、テニスコート1面（リゾートとは別）がある。

スパのサービス内容は次のとおりである。

1) ラバサウナ

溶岩を利用して周囲を溶岩で囲い、太陽熱が逃げないように作ってあるサウナで、身体に黒い粘土を塗ってこの場所で十分太陽を浴び、その後乾いた土を洗い流すと皮膚のコンディションが良くなり、太陽光線を十分浴びることでリラックス効果もあるとのことである。

2) ハワイアントリートメント

ハワイの伝統的な癒しの文化を取り入れたもの。

ロミロミ（伝統的なハワイ式マッサージ）、ロミロミフラ（フラダンス）、オプフリ（腹部を中心にした伝統的な動き）、ポハクパア（玄武岩の火で熱した小石を使って背骨にそって置く方法）、プロロパアカイ（熱した岩塩の包みを使ってこする）

3) バス&ボディートリートメント

カルミングココニラ体験（新鮮な果物のオイルと純粋なバニラビーンズを

混ぜたものを身体中に塗り、暖かな布で包む方法)、ジンジャーハニーボディセラピー (生姜と蜂蜜を使ったボディトリートメント)、海草のセラピー、フラワーチャクラバス (溶岩で囲まれた浴槽に一人一人のエネルギーの元であるチャクラと一致したハワイのトロピカルフラワーを浮かべて入る)、フラワーリングチャクラセッション (ハワイのトロピカルフラワーを使ったセラピー)

4) マッサージセラピー

スウェーデン式マッサージ、セラピュティックマッサージ (いくつかのマッサージを組み合わせたもの)、リンパティック・ドレナージ (リンパの流れを刺激し免疫力を高めるマッサージ)、トレジャー (痛みをとるマッサージ)、カスタムマッサージ (注文によるマッサージ)、ハパイマッサージ (妊婦のためのマッサージ)、ストーンセラピー (熱した石を使って身体をマッサージする)、指圧 (日本の指圧)、タイ式マッサージ、タイ式ハーブマッサージ、リフレクソロジー、カラニオサクラルセラピー (頭蓋、背骨、仙骨のバランスをとる)、クリヨセラピー (氷や凍らせた石を使って炎症や痛みをとる)、シンクロナイズドマッサージ (二人のセラピストが協力して行うマッサージ)、カップルマッサージ (カップルで受けるマッサージ)、アクアティックボディーワーク (暖かなプライベートプールを使い水中でセラピストが浮かせたりストレッチをしてマッサージを行う)、シーサイドマッサージ (海岸でのマッサージ)

5) スキンケア

マウナラニフェイシャル、フラフェイシャル (フラダンスを利用したもの)、フェイシャル&ボディワックス

6) ネイルケア

7) ライフスタイルエンハンスメント

この施設を使った身体トレーニングプログラムや栄養のプログラム、減量プログラム、ヨガや瞑想の指導プログラム

2001年に開設されたため、施設はきれいで充実しており、特にこの地域を埋

めつくしている溶岩を利用した屋外のマッサージゾーンは良く出来ている。

プログラムも他のスパにはなかったライフスタイルエンハンスメントプログラムが開設されていて、これまでハワイでは見られない、ライフスタイルの改善についてのプログラムが出来てきたことは、アメリカ本土に近いものが入れられてきたと言える。このプログラムが充実していけば、ハワイ島のスパも総合的な健康保養地として充実していくと考えられる。

以上の三ヶ所のスパの調査から言えることは、マッサージ、トリートメント等にはどのスパにおいてもハワイの伝統的な方法を利用したものが数多く行われていることが判明した。特にどのスパでもハワイの温暖な気候を利用した屋外でのマッサージや、シャワールームは癒しやリラクゼーション効果が高いと考えられる。これらについてはアメリカの他の州で行われているものよりもむしろ高いレベルにあるように思われた。

ライフスタイルの改善についてのプログラムは、マウナラニスパのライフスタイルエンハンスメントのみしか見られなかったので、この分野のプログラムの充実がこの地域のスパの今後の課題と考えられる。ヒーリングアイランド構想のなかで癒しの具体的な場としてのスパにおいてのプログラムとしては、マッサージ等だけでなく、真に人が癒された生活を送るためには、スピリット、ボディ、マインドについてのより良く生きる方法をともに考えていくウェルネスプログラムを各スパが研究開発し、訪れる人々に提供していくことが今後必要と思われる。

これらのウェルネスの総合的なプログラムが各スパで充実してくれば名実ともにハワイ島がヒーリングアイランドになると思われる。

まとめ

近年ハワイにおけるリゾート地が、これまでのスポーツや観光中心から健康の維持増進を目的とした健康保養地に生まれ変わろうとしている中で、島全体

を癒しの島にしようとする、ヒーリングアイランド構想を推進しているハワイ島についての調査を行った。

今回はヒーリングアイランド構想の中心をなしている、ノースハワイ・コミュニティーホスピタル、ヒーリングアイランド構想を計画推進している NPO 法人ファイブマウンテンメディカルコミュニティーの事務所、ヒーリングアイランド構想を進めているホテルのスパに対する調査を行ったところ、次のような結果を得ることができた。

1. ノースハワイ・コミュニティーホスピタルは、医療を癒しという観点からとらえ、最先端の技術を提供するとともに、補完・代替医療も患者、医師、看護師、補完・代替医療担当者の話し合いのもとに取り入れている。特にハワイの伝統的なハワイアンヒーリングも積極的に取り入れていて、同時に患者の人格を大切にし、施設や入院時の過ごし方に癒しの観点から多くの改良したプログラムを提供している。
2. NPO 法人であるファイブマウンテンメディカルコミュニティーは、ノースハワイ・コミュニティーホスピタルを中心にしたハワイ島のヒーリングアイランド構想を地域の人々やハワイ島、アメリカ本土や世界の人々に知ってもらうための広報活動を積極的に展開している。
3. 今回調査したスパは、近年のハワイにおける健康保養地への生まれ変わりと、ヒーリングアイランド構想を受けて新しく開設したり、拡張充実させていた。プログラムとしては、マッサージやトリートメントが中心であったが、ハワイの伝統的なハワイアンヒーリングを取り入れたプログラムも数多く見られた。しかし癒しの生活を考えていく生活習慣改善等のウェルネスプログラムは一つしか見られなかった。

以上の点からハワイ島におけるヒーリングアイランド構想は施設等のハード面では進んでいることが判明した。今後はソフト面である、生活習慣を改善していくウェルネスプログラムの充実していくことが望まれる。

謝辞

この論文の作成に関して協力していただいたヒーリングアイランド構想の生みの親であるアール・E・バッケン氏，ファイブマウンテンメディカルコミュニティーのエグゼクティブディレクターのパット・リントン氏，この研究調査に協力し，バッケン氏，リントン氏を紹介して頂き，各施設調査の紹介の労をとって下さり，内容についても多くの意見を下さったサウンドヒーリング協会理事の喜田圭一郎氏に感謝の意を表します。

参考文献

- サージ・カヒリ・キング 『ハワイアン・ヒーリング』 国書刊行会 1998年.
野崎 康明 『アメリカにおけるウエルネス・スパの施設とプログラムの分析』
同志社女子大学学術年報第50巻Ⅱ 1999年12月.
野崎 康明 『ウエルネス理論にもとづく健康保養地の在り方』
同志社女子大学学術年報第51巻Ⅱ 2000年12月.
アール・バッケン 『ワンマンズフルライフ』 メドトロニック社 1999年.
『ALTERNATIVE THERAPIES』 Vol.6 No.2 MARCH 2000.
『Shaping A Model For Health And Healing』 News of Five Mountains Hawaii Vol.2
No.1 First Quarter 2001.